

ラジオドラマ【シーちゃんの船出】 作・古川登志夫

2016年8月 文化放送「青山二丁目劇場」にて放送。

牧野……………古川登志夫

静子……………三輪勝恵

◎プロローグ

牧野

(M) 三十年も勤めた出版社が、まさかの倒産！

この歳になっての就活が、どれだけ困難か予想はしていたが、これほどとは！来る日も来る日も職探し。

あの日も俺は、大都会の摩天楼の足下に広がる大きな公園の片隅のベンチに腰掛けて、名刺の束を手に、片っぱしから電話をかけたまぐっていました。

◎大都会の公園

午前

SE (春の朝。野鳥の声。車のクラクションなど)

牧野

……………一応パソコンは扱えます……………いや、ワードだけですけどはい……………そうです……………ああ、そうですか、有り難うございました。失礼します。

(M) 電話を切ってふと見ると、ホームレスらしきおばあちゃん
が、箒とチリトリを持って、俺の座っているベンチの下を掃き掃
除している。

静子

足上げて？……………座ったままでいいから、両足上げて……………はい、
ありがとう！いいお天気ね。

牧野

俺のせいじゃないよ。

静子

この吸い殻はあんたのせいでしょ！？はい持って帰って。

牧野

汚いなあ！あっちへ行きなよ！

静子 あんた私をホームレスかなんかと思っただってバカにしてんでしょ！

牧野 ……違うの？

静子 いや、そうだけども、ハハハ。よく分かったわね！でもね、私は普通のホームレスじゃないのよ。ほら、ニオイ嗅いでみて！

牧野 さあて会社に遅刻しちゃう！またね、おばちゃん！

静子 おばあちゃんではない！私はまだおばちゃんなの！ははは。まあ、もうちょっとつきあいなさいよ、どうせ行くところ無いんですよ、会社、倒産しちゃったし。

牧野 え？

静子 あんたこのベンチに腰掛けてよく電話してるでしょ、全部聞こえちゃうのよ。その茂みの向こっかただだから私人家。

牧野 盗み聴きかよ！家って、テント？

静子 いいえ、紙と木で出来た日本の家屋。ちょっと変わった形してるけどね。うち来る？

牧野 行かないよ。

静子 あら遠慮深い…そうだ、あんた、おなか空いてんでしょ！あんぱんあげる、はいこれ！賞味期限、四カ月くらい前に切れてるけど。

牧野 要らないよ！

静子 大丈夫よ、おなかこわしてもすぐそこにトイレあるから…ハハハ…冗談よ！さっきそのビニコンでゲットしたの。

牧野 万引きしたの？

静子 そう、店員の目を盗んでササッと…コラ！人聞きの悪いこと言わ

ないですよ。私、本とはね、お金持ちなのよ。車は外車だし、船だ
って持ってんだから。

あ、そ……

ねえ、余計なことかもしれないけど、あんた背筋伸ばしたほうが
いいわ、そして、深呼吸して、ニコッと笑ってみるの、するとね、
世の中パーっと明るく見えて来るから、はい！牧野さん！一緒に
いっしょ！

なんで俺の名前知ってるの！

だから言ったでしょ、電話よ！壁に耳あり、障子に目あり、便器
の下に盗聴器ってね！毎日のようにこのベンチに座って、大きな
声で「もしもし牧野ですが」って……下の名前はなんて言うの？

他人（ひと）に名前を訊く時は自分が先に名乗れよ。

姓は湊、名は静子、覚え易いでしょ、静かな湊で、湊静子……で、
あんたの下の名前は？

あるよ。

言いたくなければ無理に訊かないわ、牧野義哉（よしや）さん！

知ってるし！

「もしもし、牧野です、牧野義哉と申します。牧場（まきば）の
牧に、野原の野で牧野、正義の義に、志賀直哉の哉と書いて、善
哉です」

盗聴器婆ア！

あら、口が悪い。いい名前よね、牧野善哉！ちょっと堅いけど！
そうだ！まーちゃんにしない？牧野だから、まーちゃん！

ま、まーちゃん？

静子 元気出しなさいよ、まーちゃん！今からいいことが起こるから。職を失った一人の男が、一本の電話をキッカケに明るい人生を取り戻す……ええ話やなあ。はい！いい電話よ、かかって来い！と。

SE (スマホの着信音)

静子 こないだの真田さんだな。

牧野 もしもし……ああ、真田？この間は有り難うね……うん……まじハローワークかなあ、なんて思ってた……え、今から？……いやいや大丈夫だよ……すぐそっちへ行くよ……ああ、あの喫茶店ね……昼頃？……オッケー……ありがとう……うん、のちほど！

静子 いいことあったのね！

牧野 ああ……あったあった！

静子 じゃあ行った行った！ヤマト、発進……！！

牧野 ヤマト？

静子 仕事決まって良かったわね。

牧野 まだ決まったわけじゃないよ。

静子 決まるわよ！またね……！！

牧野 もう会わないと思うけど元気でね、おばちゃん！バイバイ！

静子 あ、ちょっとまーちゃん！……行っちゃった……又会うわよ……必ずここへ帰ってくると、手を振る人に笑顔で応え……ライター、ベンチに置きっぱなしのもの……フフ、結構そそっかしいわね、まーちゃん……

牧野 (M) 潰れた出版社で同僚だった真田は、うまいこと、すぐに似たような出版社に潜り込んだとかで、その会社の仕事を回してくれるという。今売れまくっている青木ケ原樹海潜入ルポのような

ルポルターージュを早急に一本やつつけてくれないか、とのことだった。渡りに船、もともと雑文書き、しかも得手なジャンルだ。題材は「女ホームレス」。とっさの思いつきだが、真田は「それで行こう!」と即決した。こうして拍子抜けするほど、あっさり当座の仕事が決った。今までの苦労は何だったんだ。条件も悪くない。勝算はある!一通りの話が済んで、ほっと一息、タバコに火を点けようとポケットを探ると、ライターが無い……

◎大都会の公園 夕刻

SE (同日午後。車のクラクションなど)

牧野 たしか、このベンチだったよなあ……

静子 まーちゃん!はいコレ!預かっておいてあげたわ、

牧野 ああ、おばちゃん、ありがと、よかった、このライターお気に入りです。

静子 ……仕事、決まったのね。

牧野 え?ああ、まあね!……

静子 おめでとう、まーちゃん!

牧野 まーちゃんにされちゃったよ。

静子 あら気に入らなかった?

牧野 いや、いいよまーちゃんでもなんでも。……ところで、おばちゃんさあ……まるで占い師か予言者みたいだなあ。

静子 よく言われるわ。私には先のことなんでも分かるの。この公園でまーちゃんとお会うことも、今日まーちゃんの就職が決まることも!そしてその会社が小さな出版社であることも……

牧野 わ、すげ！

静子 今から私が言うことは全部その通りになるわ、まず今日から私とまーちゃんのおつきあいが始まる……

牧野 へえ。

静子 あら、冗談じゃないのよ！そしてそのおつきあいはね、1ヶ月後に突然終局を迎える。

牧野 なんだいそりや。そういや、今朝俺と別れるとき「ヤマト発進〜！〜！」で、言ったよな！

静子 ああ、言った言った！私大好きだったの、「宇宙戦艦ヤマト」ってアニメ！

牧野 え、おばちゃんが？

静子 若い頃「宇宙戦艦ヤマトファンクラブ」なんてのに入っちゃってさ。

牧野 ええ！俺も入ってたよ！ヤマト漬けてくらい大好きでさ！……ヤマトねえ…なにもかも懐かしい！俺も一時夢中になったなあ…

静子 一時って？今は？

牧野 アニメなんてとうの昔に卒業……もう、全然観たくもない。

静子 あら、ダメよ！なんで、どしてよ！

牧野 おばちゃん、アニオタなの？

静子 その前に船フェチ！あらゆる乗り物の中で船が一番好き！そこからヤマトにずるずると……あんたは？

牧野 そうね、地球滅亡まであと何日！地球を救うというあの堅固な使命感、犠牲的精神！に惹かれたのかな……

静子 それなのに、なんで卒業なの？理由は？

牧野 アニメには、リアリティーがない……

静子 たとえばどんなところ？

牧野 デスラーの顔の色とかさ

静子 あつら、バカだバカだこの人！きれいなブルーじゃないのよ！

牧野 なんでデスラーの顔はあんなに青いのよ？

静子 あんた、肌の色で人を差別するのはよくないわ！

牧野 どうして青いのか、説得力のある科学的理（ことわ）りがなきや、いくらアニメでもただの絵空事じゃね！

静子 肌の色にこだわるなんて、アパルトヘイトだわ！

牧野 ハハ、たかがアニメの話じゃない。

静子 たかが？ダメだ、まーちゃん！夢が無さすぎ！ヤマトに戻りなさい！今すぐ戻りなさい！今夜レンタルビデオ店で「ヤマトよ永遠に」を借りて観なさい！これは艦長命令です！

牧野 艦長……沖田十三ねえ、確にかっこよかったなあ……

静子 あんたまだ見込みあるわ！はい私が千円上げるから、レンタルビデオ店へゴー！

牧野 金ならおばちゃんより持ってるよ。

静子 そうかなそうかな？

牧野 はいはい。財閥のご令嬢ってやつ？

静子 やあねえ、誰も何も信用してくれない……

牧野 家は田園調布で……

静子 あら！どして分かったのかしら？

牧野 車は外車で……訳あって今はホームレス……それが本とだった話は面白いんだけどねえ……

静子 本とだってば！

牧野 それよりおばちゃん！俺と茶飲み友達になっくんない？

静子 あらまナンパ？嬉しい！いいねいいね、新たなるロマンスの始まり、春の目覚め！

牧野 違うって！あれ、おばちゃんいい匂いすね。

静子 パヒュームにすると百合って、きついんだけど、これ幽かに香る程度に調合されてて好きなの。田園調布に在ったお家のお庭には毎年同じ場所に白い百合がたくさん咲く場所があっねえ。

牧野 在ったお家って？今は？

静子 訳あって、処分したのきれいさっぱり！下手に財産なんか持つてると、親族間の揉め事のタネになるだけだから。全部寄附しちゃったわ。

牧野 どっかで聞いたような話だなあ。

静子 あらま、疑い深い人ね！

牧野 で、友達とかはいるの？

静子 私はまだここに来て五ヶ月の新参者だけど、すぐお友達出来たわ。

牧野 女性？

静子 男性……ここでは女は私だけ。

牧野 へえ。友達ってどんな人？

静子 いろいろよくしてくれる、いい人よ。私のガードマン。酔っぱらいなんで、酒造さん、てあだ名付けてやったわ！

牧野 佐渡酒造かい？ハハなんでもヤマトか。

静子 本名なんか誰も言わないしね、ここではさ。

牧野 だろうねえ。……

静子 ね、まーちゃん、今からウチにこない？すぐそのやぶの向こうっかただから。お茶くらい出すからさ。茶飲み友達！

牧野 いやいや……また今度ね……

(M) もう少し話を聞きたいところだが、二人で居るところに、その酒造さんとやらに踏み込まれても面倒だ。今日の所はこれくらいにしておこう。あまり性急にしても怪しまれる。与えられた時間は二ヶ月。写真をふんだんに散りばめた薄手のルポルタージュ一本仕上げるには、充分な時間だ。焦ることはない。

M (時間経過、ジングル)

◎大都会の公園 午後

牧野 (M) 翌日の午後も、フラッと公園に寄ってみることにした。今日こそ豪邸訪問と行くか……

静子 ようこそ我が家へ〜！ジャ〜ン！

牧野 (M) おばちゃんが馴れた手つきでそのブルーシートを剥がすと、なんと児童公園なんか置いてある遊具の様な、丸っこい形のダ

ンボールの船が姿を現した！いやベニヤか？よく出来ている。船体の側面に大きくヤマトと書いてある。ヤマトのタイトルロゴを真似たか……

わ、おばちゃん、ナニコレ〜！

※以上は拙作『しーちゃんの船出』の（中程までの）シナリオです。

●「声優」という呼称がいつ頃から使われ始めたかについては「ラジオ局が「ラジオドラマ」の為の俳優を募った時に、そのニュースを報じた新聞記事に「声優」の二文字が使われた」を以て発祥とする、など、諸説存在しますが、個人的には、1925年のラジオ放送開始と共にNHKの前身「東京放送局」がラジオドラマ制作のために12名の新人放送を公募。放送タレントなどと呼ばれたが、実質、これが「声優」のはじまりとする説をとりたい。

●声優である自分が、ラジオドラマに代表される、朗読劇やCDドラマ、リーディングドラマといった「声劇」が好きな理由は、それらが、映像の助けが無く、正に声だけで表現する声優という仕事の原点だと思っからです。

●聴き手の想像力に訴える声劇は、ある意味、演者と聴き手で創るドラマであり、難易度が高い分、面白さを感じます。舞台用の戯曲は主宰していた劇団でこれまで70作ほど書き、作、演出、出演も体験してきました。昨今、ラジオドラマの脚本に惹かれ、この「しーちゃんの船出」を書き下ろし、2016年8月に、10年以上続いている文化放送の30分のラジオドラマ枠「青山二丁目劇場」で放送されました。男女二人きりのラジオドラマ「キャストイングは、牧野・古川登志夫／静子・三輪勝恵でした。」

2017.3.28 古川登志夫